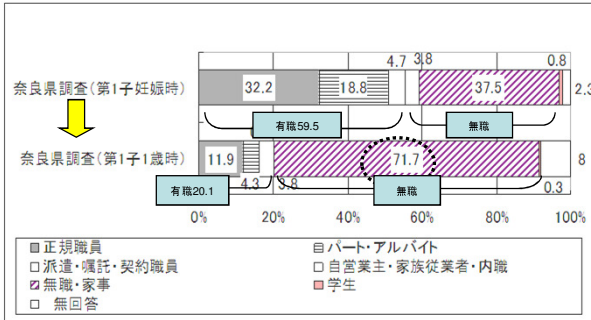


2. 関連データ

奈良県のデータ

1. 出産前後の就業状況の変化

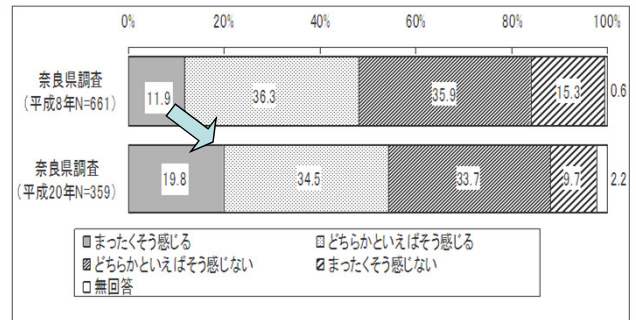
第1子出産を機に女性の7割が離職



※対象：子どもがいる初婚どうしの妻

2. 子育てに心理的・精神的な不安・負担感を感じているか (平成8年調査と平成20年調査の比較)

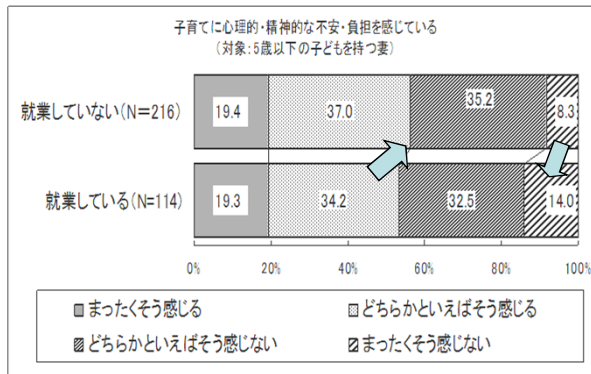
子育てに心理的・精神的な不安・負担感を感じている妻が増加



※対象：6歳未満の子どもがいる妻

3. 子育てに心理的・精神的な不安・負担感を感じているか (専業主婦と就業している妻の比較)

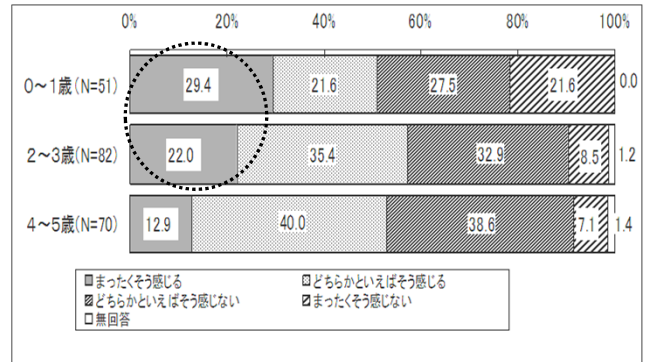
専業主婦の不安感・負担感は就業している妻に比べて大きい



※対象：6歳未満の子どもがいる妻

4. 子育てに心理的・精神的な不安・負担感を感じているか (子どもの年齢による比較)

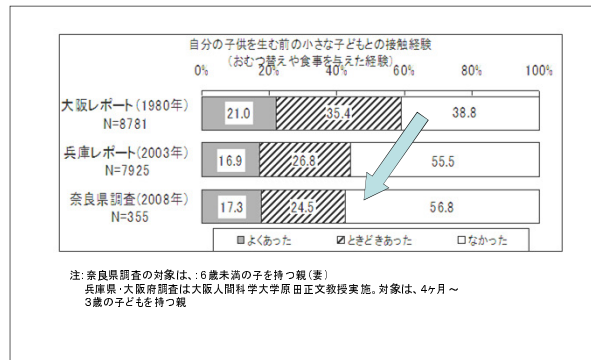
妻の不安・負担感は子どもの年齢が小さいほど大きい



※対象：6歳未満の子どもがいる妻

5. 自分の子どもを産む前の小さな子どもとの接触経験

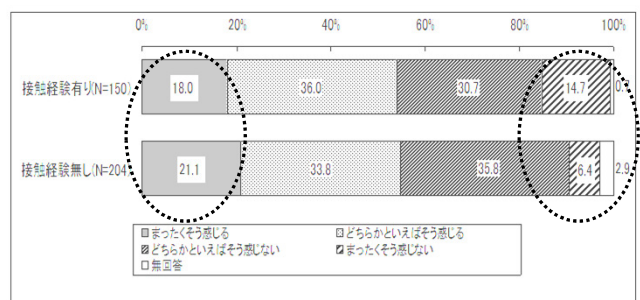
小さな子どもとの接触経験は減少している



注：奈良県調査の対象は、6歳未満の子を持つ親(妻)
兵庫県・大阪府調査は大阪人間科学大学原田正文教授実施。対象は、4ヶ月~3歳の子を持つ親

6. 子育てに心理的・精神的な不安・負担感を感じているか (小さな子どもとの接触経験の有無で比較)

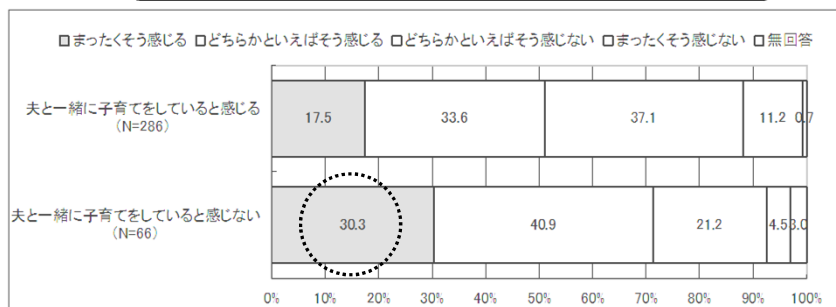
小さな子どもとの接触経験がない方が不安感・負担感を感じる



※対象：6歳未満の子どもがいる妻

7. 夫との子育ての一体感別 妻の子育ての心理的・精神的な不安・負担感

夫と一緒に子育てをしていると感じていない妻の方が、不安・負担感を感じる

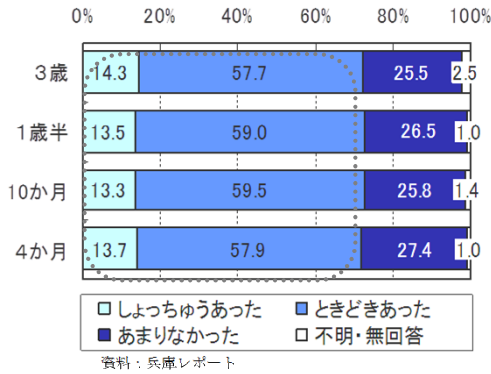


※対象：6歳未満の子どもがいる妻

全国のデータ

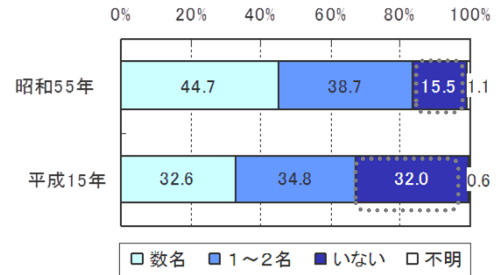
1. 子育ての心配の有無

約7割が心配なことがあった



2. 近所の中での話し相手

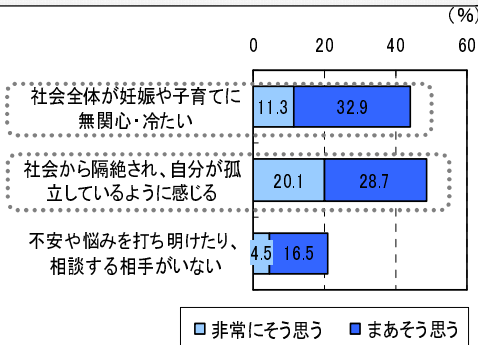
話し相手がいない人が20年間で2倍



※1 大阪レポート：大阪府「地域母子保健サービスに関する研究-新しい乳幼児保健活動の標準方式の策定のための研究-」
【対象：大阪府下A市の1980年生まれの子供】
※2 兵庫レポート：厚生労働科学研究の一環【対象：兵庫県H市・大阪府I市で2002(平成14)年から2004(平成16)年の間の乳幼児健診受診者】

3. 周囲や世間の人々に対する意識

まわりが「無関心(44.2%)で、孤立感(48.8%)を感じている

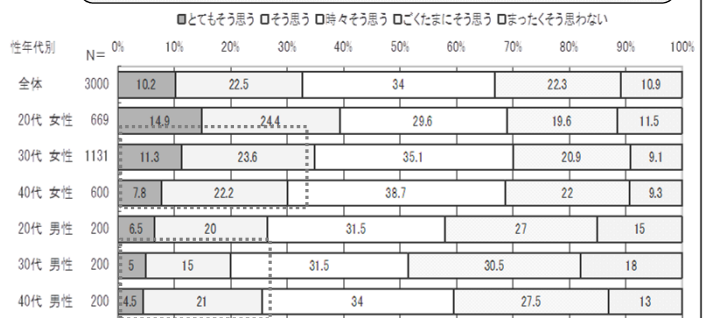


注：妊娠中又は3歳未満の子供を育てている母親の周囲や世間の人々に対する意識
資料：財団法人こども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査」(平成16年)

4. 「子育てに関する親の意識」

『他の親たちの方が私よりも上手に子育てをしていると思う』

20代、30代の女性は他の親の子育てより自分の子育てに対し自信がない

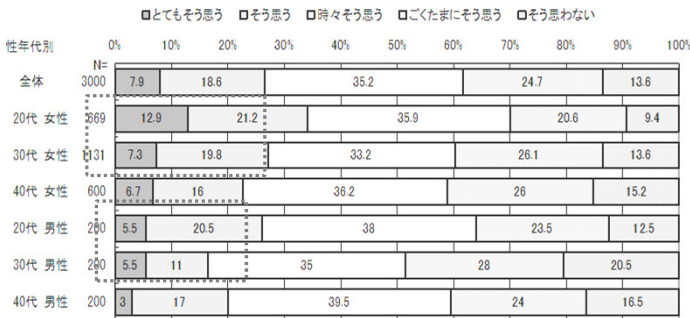


資料：財団法人こども未来財団 平成22年度「子育て環境に関する親の意識についての調査研究」報告書

5. 「子育てに関する親の意識」

『同世代の他の同性の方が私よりも生き生きと生活していると思う』

20代、30代の女性は自分の生活のあり方に自信を持っていない



資料：財団法人こども未来財団 平成22年度「子育て環境に関する親の意識についての調査研究」報告書

6. 突然の用事の際に子どもの面倒を誰に頼むか

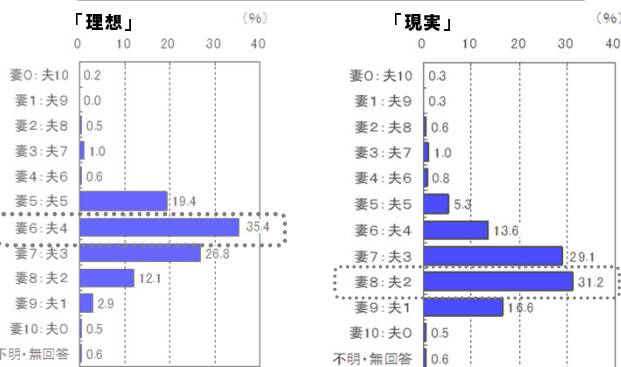
日本以外の国は、子どもの面倒を夫に頼む



資料：内閣府平成22年度「少子化社会に関する国際意識調査」報告書

7. 夫が思う子育ての役割分担の理想と現実

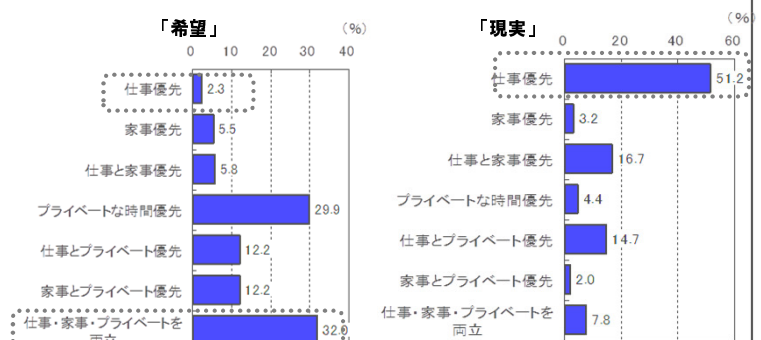
理想は妻が6：夫が4だが、現実には妻が8：夫が2
理想と現実にはギャップがある



注：子育て層の男性対象「子育ての役割分担の期待」
資料：財団法人こども未来財団「平成16年度子育てに関する意識調査」

8. 夫が思うワーク・ライフ・バランスへの希望と現実

希望は「仕事優先」が2.3%、「仕事・家事・プライベートを両立」が32.2%だが、
現実には51.2%が「仕事優先」



注：既婚有業の男性対象
資料：男女共同参画会議少子化と男女共同参画に関する専門調査会「少子化と男女共同参画に関する意識調査(男女の働き方とワーク・ライフ・バランス)」(平成18年)